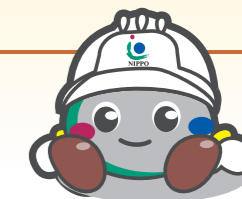




読者の声を受けて



Q A DX(デジタルトランスフォーメーション)に関する取り組みを教えてください。

DXを簡単に説明すると「デジタル技術の活用で、組織やビジネスモデルを変革し、業務等の方法を抜本的に変えること」です。しかし、成果を上げている企業は、わずか数パーセントといわれています。現在、当社の土木や建築はデジタル技術を使用した3D化や、ドローンやロボット等を使用した自動化を進めています。また管理業務ではRPA※を活用しパソコン作業を自動化しています。できるところから始めて、多くの人に役立てるよう進めてまいります。

※ Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)
: パソコン作業の自動化ソフト

企画部 新基幹システム構築推進室
松木 重夫



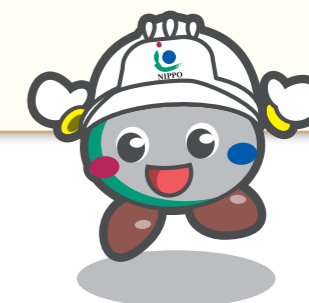
Q A 障がい者雇用に対する方針を教えてください。

当社は、SDGsにおける2030年目標(障がい者雇用率3.0%以上または法定雇用率以上)達成に向け、採用活動と職場定着支援に取り組んでいます。

具体的には、障がい者雇用の機会拡大(P.30参照)、就労支援機関と企業在籍型職場適応援助者によるジョブコーチ支援、配属部署への事前勉強会、定着面談等を行っております。

個々の障害特性に応じた合理的配慮を把握し、関係機関(就労支援機関・医療機関等)との連携や職場の障害理解を図ることが大切であると考えています。

人事部 人事第一グループ
相馬 芙美



Q A 外国籍社員の方はどのような仕事に従事されていますか。

私の出身・タイでは、再生合材があまり普及していません。技術の優れた日本ではどのように配合設計・品質管理をしているのかを学びたいと思い、THAI NIPPOからの転勤で3年前に来日しました。

以後、知識豊富な先輩方から室内試験や現場試験の方法を学びながら、海外での再生合材の普及に取り組んでいます。仕事に言葉の壁にぶつかることもありますが、スムーズな意思疎通ができるよう、毎晩欠かさず日本語の勉強をしています。

将来的には、道路舗装・品質管理のスペシャリストとして、母国の環境問題に貢献したいです。



海外支店
舗装事業部 合材グループ
シータンヤー シリタンヤー



Q A 現場の取り組み(社会貢献活動など)について教えてください。

士別市は降雪量が年間6mを超え、春の到来が一番遅い地域です。士別南中学校は、3月末では積雪が1.5m以上あり、4月の入学式には駐車場・駐輪場が使用できません。2015年より、社会貢献の一環として士別出張所と株式会社道北舗道2社合同で、除雪機械4台、10tダンプトラックで除排雪を行っています。生徒・保護者の皆様が気持ちよく新学期を迎えられるお手伝いをい地域や社会に貢献したいと思います。これからも、継続的な努力を続け信頼向上を図ります。



士別出張所
佐藤 優市

